



Y-PORT 事業初の  
取組をご紹介します！

# 第32回 Y-PORTワークショップ

【テーマ】コロナ禍におけるビジネスマッチング機会創出について  
～Y-PORT事業による各種取組へのご意見募集！～

横浜市では、Y-PORT事業（公民連携による国際技術協力）として、市内企業の皆様と海外インフラビジネス形成を進めています。「Y-PORTワークショップ」は、市内企業等の皆様との情報交換の場として年数回開催するものです。今回のワークショップでは、Y-PORT事業への企業の皆様の参画機会をご説明するとともに、今年度の各種取組へのご意見を頂きます。

Y-PORT事業では、今年度から3か年で採択された新たな地方創生推進交付金を活用し、本市の都市開発の知見と市内企業等の優れた技術・サービスを包括的に組み合わせ、世界に向けて情報発信し、横浜の都市ブランドを背景に生み出されるビジネスチャンスが市内企業の受注に着実に結び付ける仕組みの構築を目指しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で海外渡航が困難な状況ですが、このような時期だからこそICTを活用して継続的に海外と繋がっていくとともに、横浜の優れた技術を発信していく必要があります。そこで、企業と海外都市または企業同士のウェブ上でのマッチング機能の構築や企業の技術及び横浜の都市づくりのノウハウ等を広くアピールする情報発信拠点を整備し、企業の皆様にご活用いただけるような場としていく予定です。また、昨年度から引き続き、企業の皆様との協議を密に行うことで、市内企業の皆様の技術やサービス等を最大限活用したパッケージ型都市ソリューションの創出等を進めます。

多くの企業の皆様の参加をお待ちしております。

日 時：令和2年10月28日（水）14:00～15:45

開催方法：ウェビナー（ウェブ上オンラインセミナー）形式（上限300名）

参加費：無料／要事前申込

主催：横浜市国際局

その他：プログラムおよび参加申込方法は裏面をご参照ください。

**Y-PORT**  
Yokohama Partnership of  
Resources and Technologies

【プログラム】（予定）（企業の皆様による活用例や参画についてのご説明、及び意見交換を予定しております）

14:00 開会

- 1 企業と海外都市または企業同士のウェブ上でのマッチング機能の構築、国際会議等を通じたネットワーキングの促進
- 2 企業の技術や横浜の都市づくりのノウハウ等を広くアピールする情報発信拠点の整備
- 3 企業の技術を組み合わせた質の高い事業形成（パッケージ型都市ソリューション）



パッケージ型ソリューションのイメージ（左から廃棄物、汚水・排水処理、エネルギー）

#### 4 (一社)YUSAの検討部会の紹介（廃棄物部会及びエネルギー・インフラ部会）

YUSA(YOKOHAMA AURBAN SOLUTION ALLIANCE)：海外インフラビジネスの拡大を図るとともに、都市課題の解決に貢献するため、平成29年7月に市内企業が中心となって設立した社団法人

15:45 閉会

【参加申込方法】（参加者間で参加者名簿を共有します。予めご了承のほどお願いいたします。）

以下の項目を記載の上、[ki-yport@city.yokohama.jp](mailto:ki-yport@city.yokohama.jp) まで電子メールをご送信ください。

- ・参加者氏名、企業名、部署名、役職、メールアドレス、電話番号
- ・横浜市内の拠点の有無（「本社」、「支店」等記載）
- ・中小企業に該当（「該当」、「非該当」、「その他」を記載）
- ・横浜市及び市内企業との連携状況（「連携中」、「過去に連携」、「検討中」、「今後検討予定」を記載）

【開催方法等】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Microsoft Teamsを活用し、ウェブ上で開催します。
- ・参加お申込みいただいた方に、Microsoft Teamsの招待電子メールを送信いたします。
- ・当日、開催時間になりましたら、ご案内する招待電子メールのURLから、ご参加ください。
- ・セキュリティ上アクセスできない等の不都合があるようでしたら、下記お問い合わせ先にご相談ください。

【お問合せ】横浜市国際局国際協力課 宮下・佐々井

電話：(045)221-1211 Email：[ki-yport@city.yokohama.jp](mailto:ki-yport@city.yokohama.jp)